



代表質問 (市民クラブ)

■平成29年度予算について

新年度の特色ある施策は!?

佐藤議員 市長1期目でふるさと七尾づくりの施策が具体化され、その4年間でかなり種まきをし、2期目の4年間で一歩ずつ着実に推進していくのではないかと思っています。そこで、市長が七尾市を牽引するのに、平成29年度の当初予算として、近隣市町と大きく違うと思われる施策は何か。また、課題も多くあると思うが、その課題を解決するための対策は何か。

不嶋市長 七尾版総合戦略に肉付けをし、能登を牽引する七尾、市民が活躍する七尾を実現するのが予算の柱であり、特色である。特色の一つに、北陸新幹線や能越道などの交流・産業基盤をフル活用し、生業を支える、そして、働く場所の創出や交流人口の拡大による産業振興に、産業界・経済界とともにしっかりと取り組むことで、今後も七尾が能登を引っ張っていくことができる。また、少子高齢化が進み、地域コミュニティも弱くなるといった危機感があるなかで、子育てしやすい環境の充実や共助の力が機能する地域づくりが待ったなしでやってくる。そこで、財政状況に左右されることなく、4年間で使い切る2つの基金も創設したことで、市民の奮起を引き出し、活発にする七尾にしていきたいと考える。大きな意味でこの4年間の実証事業がスタートする予算だと思っている。

- 【その他の質問項目】
- 七尾港の利活用
- 鳥獣被害
- ジビエ
- 公共、公衆トイレ



佐藤 喜典 議員 (市民クラブ)



七尾市役所

代表質問 (等政会)



杉本 忠一 議員 (等政会)



和倉温泉観光会館

■祭り会館の建設について

総意と工夫に満ちた祭り会館に!

杉本議員 祭り会館建設に向けて、調査費を計上し大きな一歩を踏み出し、とても嬉しく思っている。建設に向けて豊富な観光資源を有する金沢から足を運んでいただけると、豊かな総意と工夫に満ちた祭り会館となることが求められる。建設による観光誘客の拡大という課題については、協議会をつくり、祭り関係者、観光事業者、専門家の意見などを十二分に聞いて反映させていく必要があるが、市長の考えはどうか。

不嶋市長 昨年の6月議会で、祭り会館の提案があり、直ちにという思いではないが、次の総合計画のなかで位置づけて検討していくことも一つと考えていると答弁させてもらったが、このたび青柏祭がユネスコの無形文化遺産登録などもあり、和倉温泉観光会館を七尾市の多彩な祭りを展示する施設にリニューアルするための調査検討をしたいということでも予算計上したところ。議員指摘のとおり、祭り関係者、観光事業者などの意見や意向をしっかりと伺い、七尾ならではの施設となるよう構想を練り上げていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 駅前複合商業施設
- 七尾市公設地方卸売市場
- 老老介護問題

代表質問 (灘会)

■小中学校の統合に伴う跡地利用について

空き校舎の適正管理を!

杉本議員 4月から七尾中学校が開校することにより、御祓、田鶴浜中学校の校舎と校舎移転する中島中学校の旧校舎が空き校舎となる。朝日中学校は、新たに徳田と高階の小学校が統合して朝日小学校として使用するため、徳田と高階も空き校舎となる。空き校舎となった学校跡地利用について、市としてのどのように方向性を考えているのか。

不嶋市長 七尾市は、現在、公共施設の総合管理計画に基づき、施設の適正配置および適正管理に取り組んでいるところ。小中学校の統合・再編についてはおおむね最終段階で、今後は空き施設の有効活用管理が課題である。耐震化されている校舎や体育館などは、一時的に地域からの要望などを踏まえながら、管理費があまりに市にかぶることがないよう、管理運営のあり方などを含めて検討していく。耐震化されていない校舎や体育館は、基本的に危険ということもあり、予算との兼ね合いも頭に置きながら、今後取り壊していく方向である。学校用地は、かなり広い面積で使い勝手もある。旧金ヶ崎小学校跡地に植物工場が進出したこともあり、次の企業誘致にもつながるようにはという思いもある。地域の方々のご理解ご協力をいただきながら、今後の利活用にとしっかりと取り組んでいく。

- 【その他の質問項目】
- 安土安心に暮らせる地域づくりの推進
- 和倉温泉祭り会館



杉木 勉 議員 (灘会)



空き校舎となった御祓中学校